

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・言葉Ⅱ	演習	1	田中 麻紀子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

保育内容・言葉Ⅰでの学びを生かし、さらに「言葉」への理解を深めていく。様々な実践を経験し、保育現場で活かせる「言葉」を身につける。また、幼児が自分の考えを話したり、相手の話を聞いたりする態度を養うためには、どのような経験を保育の中に取り入れるのか演習を通じて学び、身に付ける。

- 1) 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、保育内容・言葉Ⅱのねらい及び内容を理解する。
- 2) 幼児の発達や学びの課程を理解し、具体的に保育者が子どものどのように関わっていくのかを想定し、保育を構想する方法を身に付ける。

【授業の概要】

「保育内容・言葉Ⅰ」で学んだ内容をさらに自分のものとして深めていく。全員がストーリーテリングの実践を行い、紙芝居はグループワークで実践する。また、クラスだよりや連絡帳の作成を行う。言葉遊びや文字を取り入れた遊びを考え、模擬保育を行う等保育の現場においてすぐ役立つよう、演習を中心に進める。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション・「保育内容・言葉Ⅰ」の振り返り

事前学修課題: 保育内容・言葉Ⅰの授業内容を振り返る。【0. 5時間】

事後学修課題: 配布した資料をまとめ、授業内容を復習する。【0. 5時間】

2. 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」

事前学修課題: 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読む【0. 5時間】

事後学修課題: 授業を受けた上で、改めて幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、理解を深める。【0. 5時間】

3. 言葉でのかわりに配慮を必要とする子どもへの支援

事前学修課題: これまでに自分の身近にいた言葉でのかわりに配慮をひつようとすると子どもについて考える。【0. 5時間】

事後学修課題: 自分ならどのような配慮をしたり、かわりの工夫をしたりすることができるのかを考える。

【0. 5時間】

4. ごっこ遊びと劇遊び

事前学修課題: 園ではどのようなごっこ遊びや劇あそびが行われているかを調べておく。【0. 5時間】

事後学修課題: 自分がごっこ遊びや劇あそびをするならどのように行うかを考える。【0. 5時間】

5. 伝承遊びと遊びうた

事前学修課題: 伝承遊びや遊びうたにはどのようなものがあるかを調べておく。【0. 5時間】

事後学修課題: 授業内で行った伝承遊びや遊びうたをおさらいし、自分のものにする。【0. 5時間】

6. ストーリーテリング(教材研究)

事前学修課題: ストーリーテリングをしたいお話しを見つけておく。【0. 5時間】

事後学修課題: 授業内容を踏まえ、ストーリーテリング発表の準備をする。【0. 5時間】

7. ストーリーテリング(実践・第1グループ)

事前学修課題: ストーリーテリングを発表できるよう、十分に練習する。【1. 0時間】

事後学修課題: 反省点を踏まえて、改めて練習する。【0. 5時間】
8. ストーリーテリング(実践・第2グループ) 事前学修課題: ストーリーテリングを発表できるよう、十分に練習する。【1. 0時間】 事後学修課題: 反省点を踏まえて、改めて練習する。【0. 5時間】
9. 連絡帳の作成(ねらいと留意点・作成) 事前学修課題: 連絡帳について、事前に調べておく。【0. 5時間】 事後学修課題: 配布した資料をまとめ、理解を深める。【0. 5時間】
10. クラスだよりの作成(ねらいと留意点・作成) 事前学修課題: クラスだよりについて、事前に調べておく。【0. 5時間】 事後学修課題: 授業内で作成できなかったクラスだよりの仕上げをする。【0. 5時間】
11. 文字を遊びに取り入れる 事前学修課題: 文字を取り入れた遊びについて調べておく。【0. 5時間】 事後学修課題: 配布した資料をまとめ、理解を深め指導案作成の準備をする。【0. 5時間】
12. 言葉あそびを考える(指導案作成) 事前学修課題: どのような言葉あそびの指導案を作成したいかを考えておく。【0. 5時間】 事後学修課題: 指導案に基づいた保育の流れをシミュレーションする。【0. 5時間】
13. 言葉あそびを考える(模擬保育第1グループ) 事前学修課題: 模擬保育の準備を行う。【1. 0時間】 事後学修課題: 反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。【0. 5時間】
14. 言葉あそびを考える(模擬保育第2グループ・ふりかえり) 事前学修課題: 模擬保育の準備を行う。【1. 0時間】 事後学修課題: 反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。【0. 5時間】
15. 紙芝居の読み聞かせ(ねらいと留意点・実践)・まとめ・ふりかえり 事前学修課題: 読み聞かせたい紙芝居を見つけておく。【0. 5時間】 事後学修課題: 反省点を踏まえ、よみかかせの練習を改めて行う。【0. 5時間】
【学習のあり方】 積極的に実践に参加し、必要なことは自ら書き留める等する。
【成績評価】 提出物(20%)、実践発表(50%)、授業態度(30%)により総合的に評価する。
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 ストーリーテリング・模擬保育などの実践に対し、コメントをする。
【テキスト】 特に使用せず、授業内に資料を配布する。
【参考文献】 厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館 文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館 内閣府『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』フレーベル館
【実務経験の有無】 幼稚園教諭、主任としての実務経験を生かし、実習や現場で役立てられるような指導法の授業を行う。